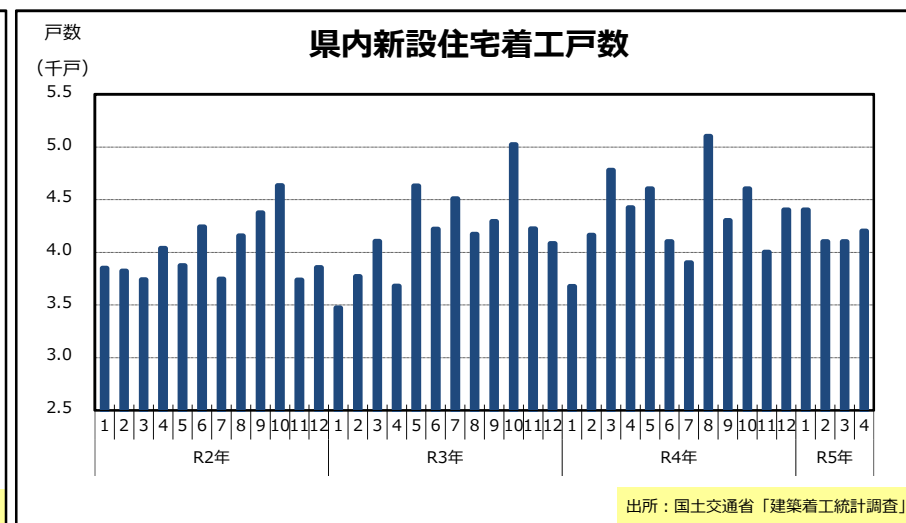
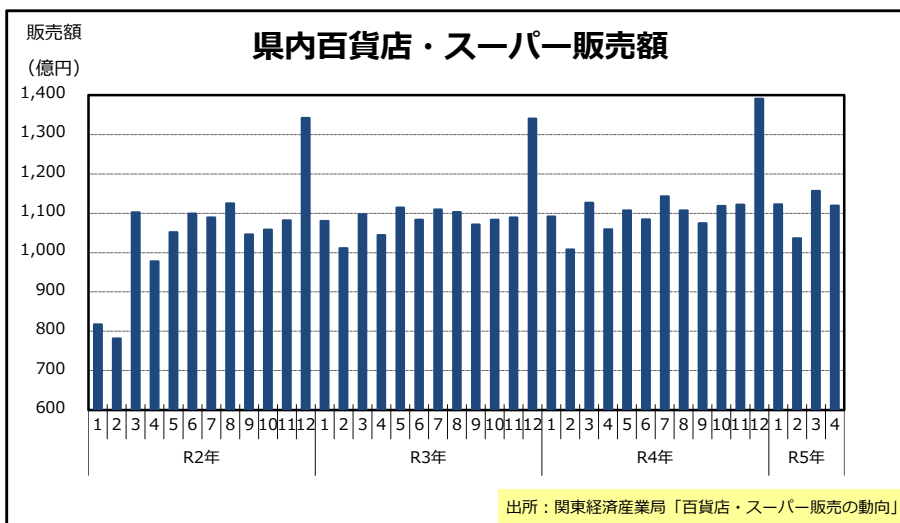
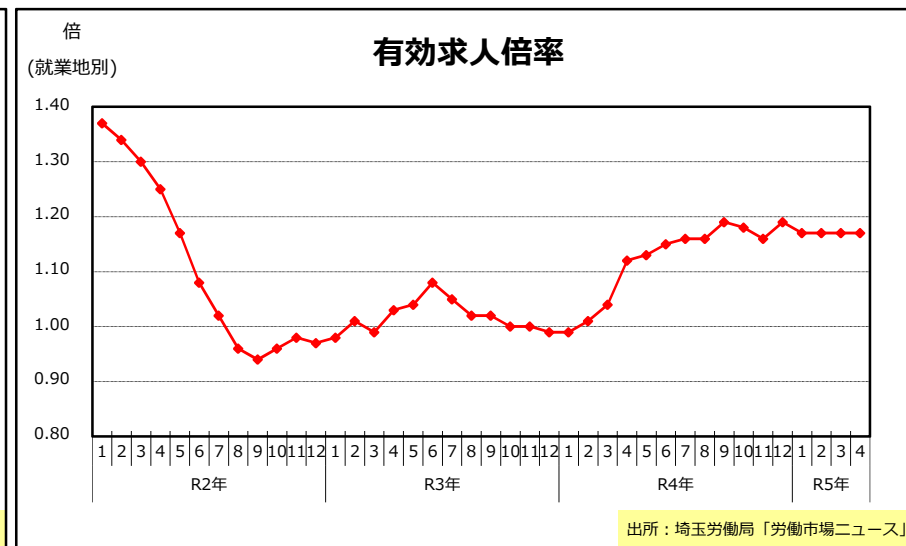
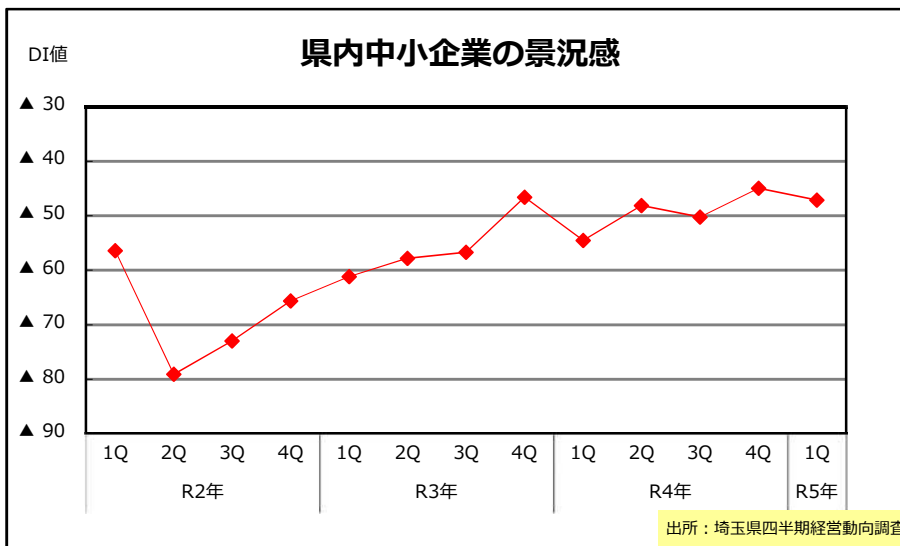


埼玉県経済の現況



強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議

概要

- 新型コロナと共存できる強い埼玉県経済を構築するため令和2年5月に設置
- 産官学金労を構成員とし、県全体でビジョンを共有しながら、施策・事業を展開
- 5類移行後は、ポストコロナ時代をオール埼玉で切り拓く戦略的取組を社会実装するための会議として継続・発展

新型コロナとの共存(R2.5～)

- 新型コロナの拡大により影響を受けた**経済の回復**
- **新型コロナと共存**できる強い埼玉県経済を構築
- **物価高騰**への影響にも適時適切な施策・事業を展開

令和4年度の主な取組

- ・トラック運送事業者や貸切バス事業者への支援
- ・伴走支援型経営改善資金の融資枠拡大
- ・省エネ・再エネ設備の導入支援
- ・価格転嫁の円滑化に関する協定 **(全国初)**

ポストコロナ時代をオール埼玉で切り拓く戦略的取組(R5～)

緊急的な課題

への対応

- ・感染拡大への備え・対応
- ・エネルギー・原材料価格高騰への対応

中長期的な課題

への対応

- ・社会経済環境の変化に対応
(例：DX、サーキュラーエコノミー)

構造的課題（価格転嫁の円滑化、雇用の流動性確保、中小企業の業態転換）にも引き続き取り組む



産官金労12者による価格転嫁の円滑化に関する協定
(R5.3.30更新時)

令和5年度の主な取組

- ・LPガス、特別高圧電力使用者への支援
- ・原材料の転換等の支援
- ・更なる価格転嫁の促進

埼玉県のすがた ～人口・産業・交通 ポテンシャルが高い～

総人口 **734万人**(全国**5位**)

出典 令和2(2020)年総務省「国勢調査」

- 1 東京都 1,405万人
- 2 神奈川県 924万人
- 3 大阪府 884万人
- 4 愛知県 754万人
- 5 埼玉県 734万人**

県内平均年齢 **46.8歳**(全国**7位**)

出典 令和2(2020)年総務省「国勢調査」

県内企業数
16万262企業(全国**5位**)

出典 令和3(2021)年埼玉県「経済センサス」

県内総生産(名目) **23.6兆円**(全国**5位**)

出典 令和元(2019)年度内閣府「県民経済計算」

- 1 東京都 115.6兆円
- 2 大阪府 41.2兆円
- 3 愛知県 40.9兆円
- 4 神奈川県 35.2兆円
- 5 埼玉県 23.6兆円**



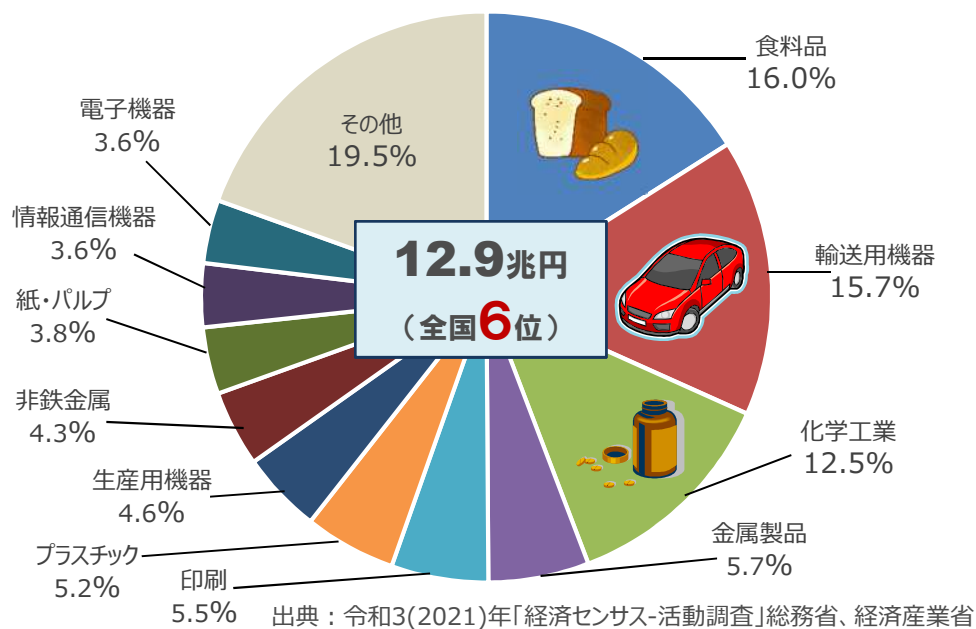
日本一の交通の要衝

- ・東北、上越、更に北海道など6つの新幹線で東日本の主要都市に直結
- ・東日本の大動脈「東北」・「関越」・「常磐」自動車道が南北に縦断
- ・首都圏の高速道路を結ぶ「外環道」・「圏央道」が東西に横断

全国有数の内陸工業県

埼玉県の産業分類別製造品出荷額等の構成比

多種多様な業種が集積



全国有数の工業県

ホンダ、UDトラックスなど
大規模工場とそれをサポートする
中小企業が立地

一般インキ 全国1位

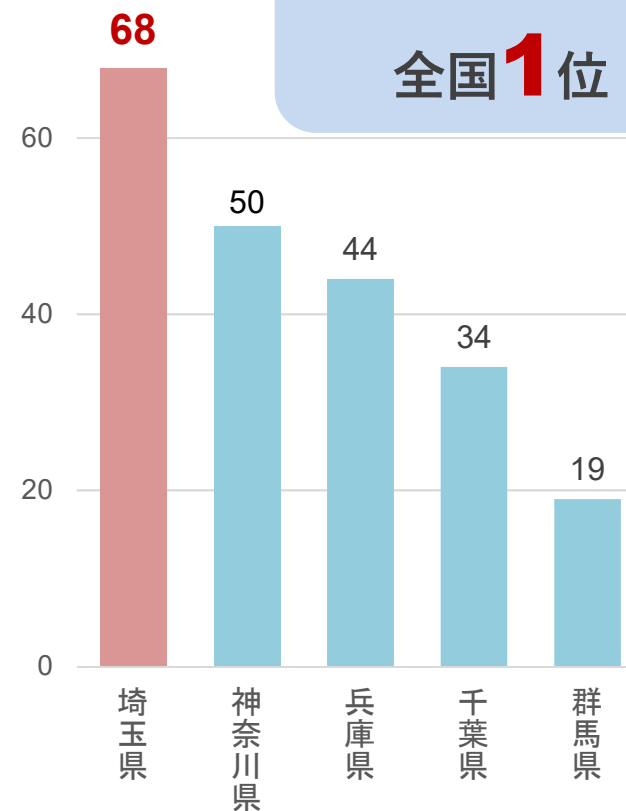
化粧水 全国1位

出典：令和3(2021)年「経済センサス-活動調査」総務省、経済産業省

全国の転入・転出企業の状況

2022年（令和4年）
の企業本店転入超過数

全国1位



出典 (株)帝国データバンク「埼玉県・本店移転企業調査」

企業誘致の取組実績

平成17(2005)年1月～令和5(2023)年3月

立地件数 **1,292件**

投資総額 **約2兆1,851億円**

新規雇用 **40,221人**
(※立地企業の計画ベース)

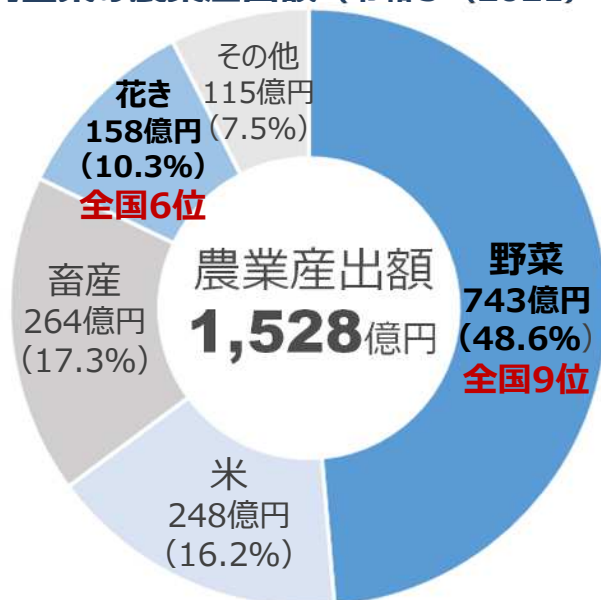
税収確保 **約1,490億円**

[地域別立地内訳]



意外と強い農業県埼玉

埼玉県の農業産出額（令和3（2021）年）



出典：農林水産省「生産農業所得統計」

野菜 743億円（全国9位）

品目	産出額	全国順位
さといも	45億円	1位
ねぎ	141億円	1位
ほうれんそう	79億円	1位
こまつな	31億円	2位
かぶ	13億円	2位
きゅうり	97億円	4位
ブロッコリー	39億円	4位
えだまめ	35億円	4位
はくさい	15億円	4位



花き 158億円（全国6位）

品目	産出額	全国順位
パンジー	5億円	1位
チューリップ(切花)	3億円	2位
洋ラン類(鉢物)	33億円	3位
ゆり	22億円	3位



清酒の出荷量 全国4位（令和3年）

出典：日本酒造組合中央会「清酒課税移出数量調」

全国初の「プレミアムいちご県」埼玉

県オリジナル品種「あまりん」最高金賞
受賞した35のいちごのうち、6つが埼玉産



一般社団法人日本野菜ソムリエ協会主催「第1回全国いちご選手権」(R5.2.2)

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と計算結果が一致しない場合がある

埼玉県5か年計画 ～日本一暮らしやすい埼玉へ～

計画の期間 令和4年度(2022年)～令和8年度(2026年)



埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

時代の潮流

(本県が置かれている社会経済情勢や時代の流れ)

目指す3つの将来像 ～2040年を見据えて～

将来像① 安心・安全の追究
Resilience(レジリエンス)

将来像② 誰もが輝く社会
Empowerment(エンパワメント)

将来像③ 持続可能な成長
Sustainability(サステナビリティ)

12の針路

将来像の実現に向けて、
時代の潮流に的確に対応する
ための方向性

54の分野別施策

針路ごとに取り組むべき施策

106指標

地域別施策

各地域の特性を
踏まえて
取り組む施策

将来像の実現に向けた基本姿勢
全施策を貫く横断的な視点

【埼玉版SDGsの推進】
【新たな社会に向けた変革～DXの推進～】

重点的に取り組んでいる課題

将来像① 安心・安全の追究 ～Resilience(レジリエンス)～

- 新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえた感染症対策の強化
- 激甚化・頻発化している災害に備えた埼玉版FEMAの体制づくり

将来像② 誰もが輝く社会 ～Empowerment(エンパワメント)～

- 働きやすい環境の整備に加え、社会全体で働き方を見直すなど、女性活躍を推進
- 「LGBTQの支援」として、暮らしやすい環境づくり

将来像③ 持続可能な成長 ～Sustainability(サステナビリティ)～

- コンパクト・スマート・レジリエントの要素を兼ね備えた持続可能なまちづくりに市町村や民間企業などと共に取り組む「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」を推進

埼玉県のDX 第2ステップへ

DXで目指す将来像

社会全体のDXの実現による
快適で豊かな真に暮らしやすい
新しい埼玉県への変革



埼玉県DX推進計画

第1期 (R3~5)

DXビジョン

対象別
(県民、事業者等)

分野別
(防災、環境等)

ロードマップ

DXビジョン実現に向けた
3年間の取組・工程

第3ステップ
DX

第2ステップ
デジタルイノベーション

県民・事業者
サービスの向上

全庁GIS
ノーコードツール

第1ステップ
アナログからデジタルへ

DXの
基礎固め

コピー使用量
▲59.7%
(R4 (R1比))

リモート会議
の活用
63% (R3)

埼玉版スーパー・シティプロジェクト

現状

- 少子化や急速な高齢化に伴う本格的な人口減少社会が到来

人口減少

約734万人(2020)

↓

約672万人(2040)

後期高齢者の増加

13.5%(2020)

↓

18.5%(2040)

課題

- 都市機能の低下
 - 地域経済の衰退
 - 厳しい財政運営
 - インフラ更新が困難
- ⇒ 持続可能でコンパクトなまちづくりの推進

市町村の**コンパクト**、**スマート**、**レジリエント**の3つの要素を兼ね備えたまちづくりを県が支援

【取組例】

医療、福祉、交流等の複合拠点を整備し、歩いて暮らせるまちづくりを促進

コンパクト

+

【取組例】

生活利便性を高めるMaaSやデマンド交通の提供

スマート

+

【取組例】

再生可能エネルギーの導入や蓄電池の活用等、災害時でもエネルギーが途絶えない仕組みの構築

レジリエント



県内市町村の取組状況

- 29団体(県内市町村の46%)がプロジェクトにエントリー済み。
- 県内63全ての市町村がプロジェクトへの取組意向あり。

埼玉版スーパー・シティプロジェクト

主な支援の内容

【1】市町村事業化支援チームによる支援

- プロジェクト参加市町村ごとに県関係課で構成する事業化支援チームを編成し、プロジェクトの具体化を支援
- ワンストップ窓口(県エネルギー環境課)が一括して市町村の相談に対応

【2】プロジェクト推進補助金による財政支援

- プロジェクトに基づくまちづくりについて、検討等を支援する①事業化検討補助と、事業実施をソフト・ハードの両面から支援する②事業推進補助により財政的に支援

(令和5年度予算 3億700万円【**拡充**】)

<令和4年度活用例>

- ・データ利活用調査(熊谷市)
- ・賑わい創出拠点整備のための調査事業(横瀬町)
- ・学校跡地再編関連事業(小川町)

【3】まちづくりに関する技術支援

- 市町村の状況に応じたオーダーメイド型支援
 - ・ウォーカブルなまちづくりや市街地開発事業などの都市整備手法に関する技術面での助言・提案を実施
- 先進事例の研修会
 - ・市町村の担当者向けに、まちづくりに関する先進的な取組を視察する研修会等を実施



先進事例の研修会

【4】企業とのマッチング支援

- 応援企業等登録制度(令和5年5月末現在:112)
 - ・市町村と連携・協働してまちづくりを推進する意思がある企業・団体を登録し、県が市町村とのマッチングを実施
- 市町村と企業との交流会
 - ・マッチングを促進する県主催の交流会の開催
- ガバメントピッチの開催【**新規**】
 - ・市町村が地域課題をプレゼン、企業等から課題解決策を提案するガバメントピッチを開催し、両者のマッチングを強化



市町村と企業との交流会